

# 資料5

## 地域公共交通の改善に向けた 現在の取り組み

～コミュニティバス運行事業について～

# 資料構成(目次)

1. 東部循環市立病院線  
(小和田・松浪コース)の調査



2. 北部循環市立病院線  
(北部地域)の調査

# 1. 東部循環市立病院線 (小和田・松浪コース)の調査

# ① 現状と課題

## 東部循環市立病院線

- 平成19年12月運行開始
- 14万人あまりの利用
- 1便平均5人
- 運行ルート
  - ・松が丘コース
  - ・小和田・松浪コース



<現在の小和田・松浪コースの課題>

市立病院へのアクセスが中心の現在の路線が**住民のニーズに適さないため、行き先・運行ルートなどの再検討が必要**

## ② 検討の流れ

今回の報告事項

### 【STEP1】現況およびニーズ調査

実施済

#### 地域特性分析（過年度に実施）

- ・コミュニティバスのニーズ
- ・再編への要望
- ・既存路線バスへの影響

#### アンケート調査（12月実施）

- ・地域での移動実態の把握
- ・バス利用の際の行先ニーズの把握
- ・今後の利用意向

現状と市民ニーズ  
両面を把握



### 【STEP2】再編案の検討

#### 住民ワークショップの実施（今後実施予定）

- ① 第一回：アンケート結果に基づいた路線ニーズと路線見直しの考え方の整理
- ② 第二回：第一回の結果を整理し、路線再編案を検討  
路線見直し（市民案）の立案

今後の地域公共交通会議

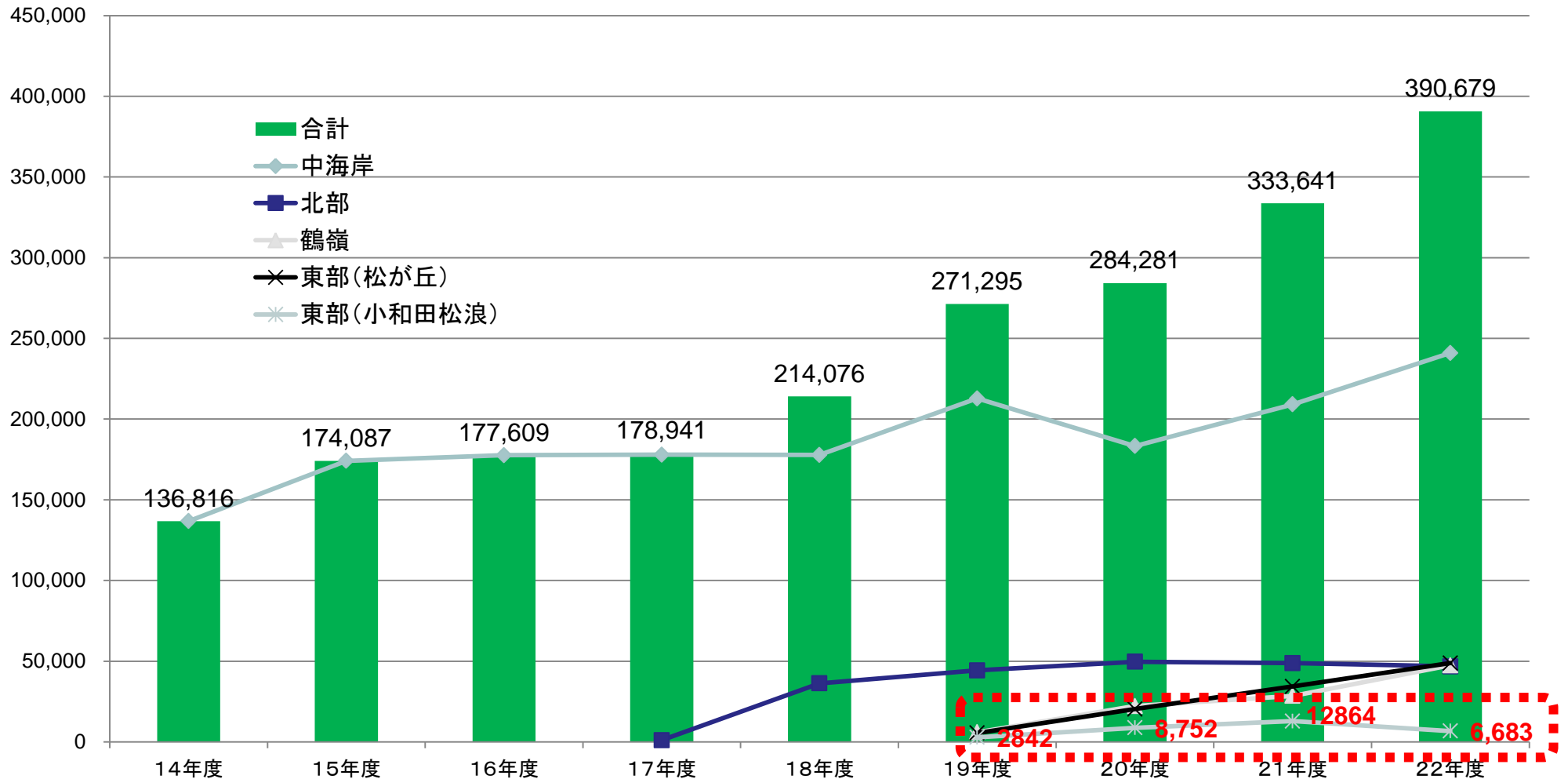
### 【STEP3】まとめ

まとめと取り組みの整理

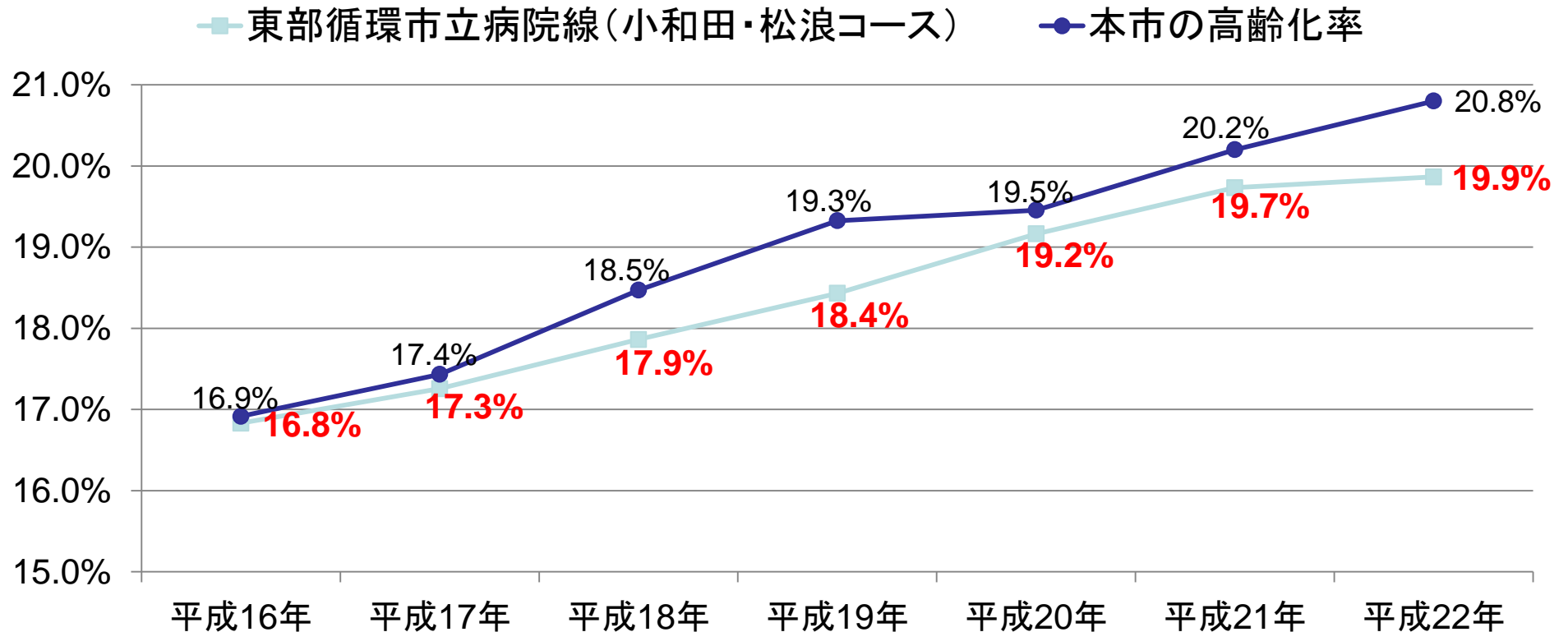
# ③ 地域特性分析

## コミュニティバスの利用実績（平成14年度～22年度）

＜小和田・松浪コースの年間利用者数＞



## 〈小和田・松浪コース沿線の高齢化率〉

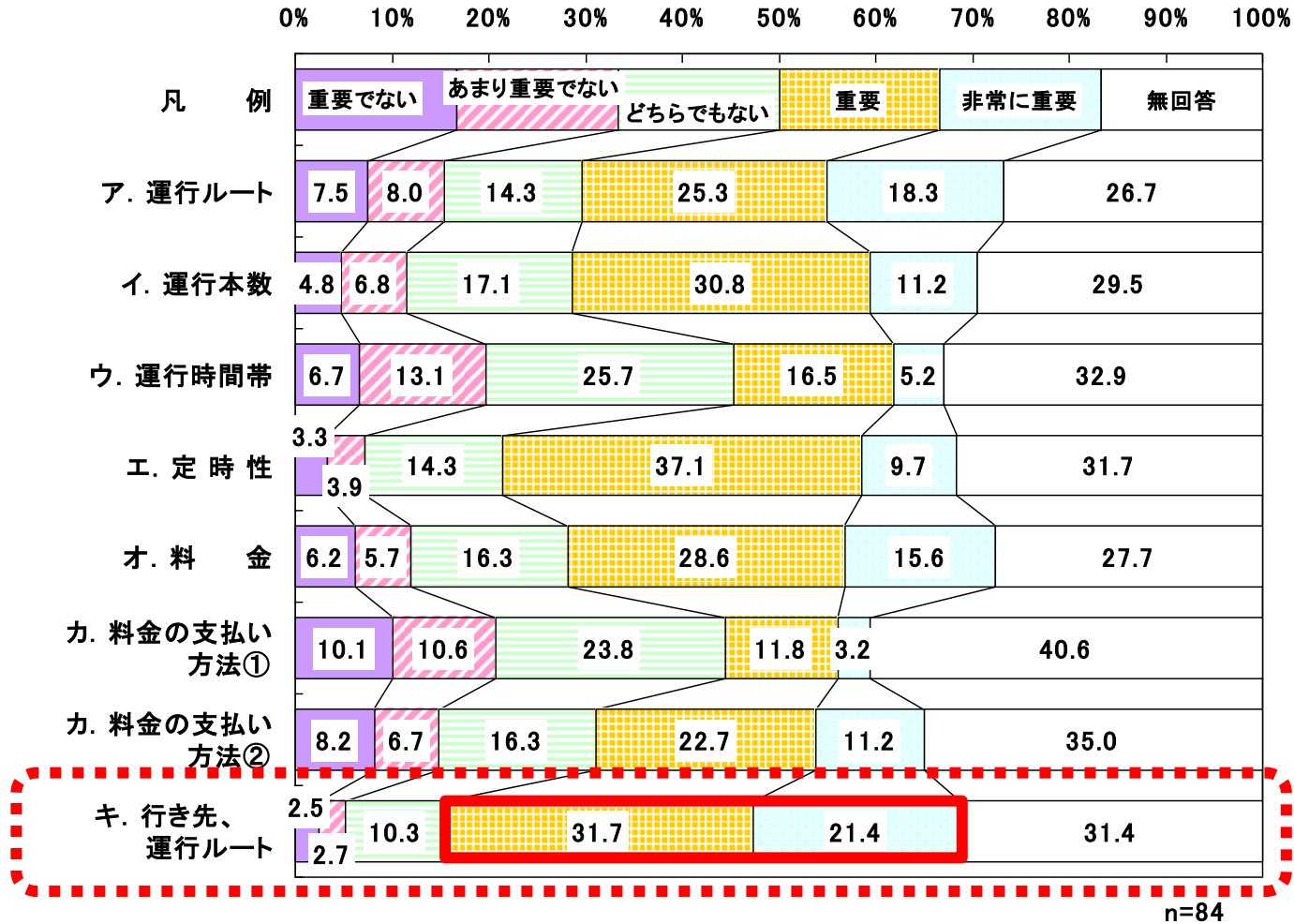


資料:住民基本台帳(各年:1月1日時点)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
高齢者数	4,777	5,483	5,685	5,910	6,147	6,400	6,597	6,655
地区内人口	31,267	32,578	32,946	33,087	33,353	33,396	33,433	33,502

# ＜地域住民のコミュニティバスへの要望＞

(平成20年度アンケート調査結果より)



※ カ.料金の支払方法①:定期券、②:PASMO・Suica

茅ヶ崎駅、辻堂駅などへの乗り入れを含めた  
行き先、運行ルートに対する重要度が大きい



## ④ アンケート調査結果

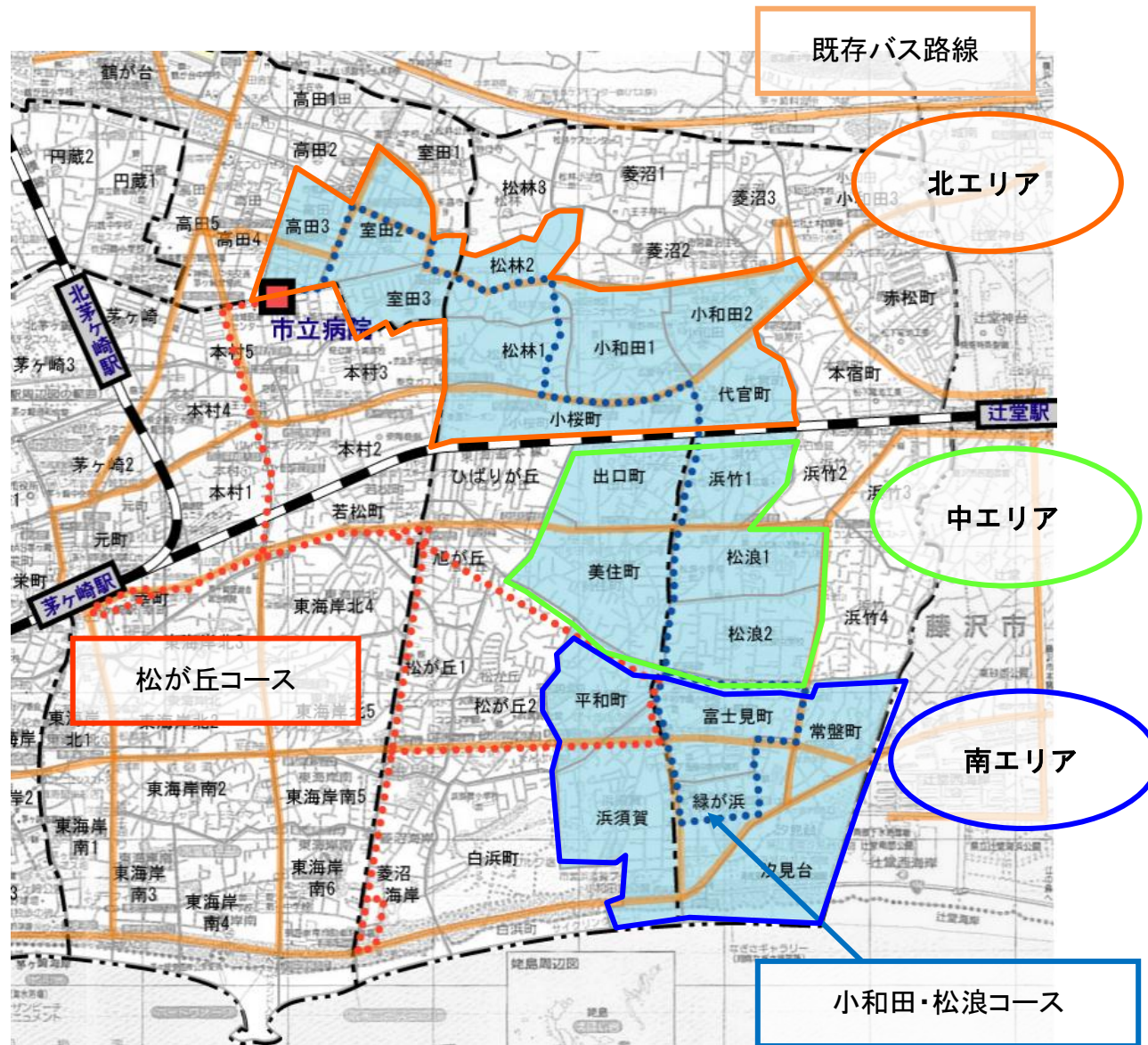
### <調査の目的>

東部循環市立病院線（小和田・松浪コース）地区において、市民の移動実態、公共交通の利用実態、買い物等での利用意向などを過年度調査および昨年12月のアンケート調査により把握し、コミュニティバス利用促進のための見直し案検討の材料とする。

# <居住地>

	町名	回答者数	地区分類	回答者数
1	室田	26	北エリア (JR以北)	82
2	小和田	20		
3	松林	19		
4	高田	8		
5	代官町	7		
6	小桜町	2		
7	松浪	34	中エリア (JR以南)	89
8	美住町	25		
9	出口町	15		
10	浜竹	15		
11	浜須賀	24	南エリア (JR以南)	85
12	緑が浜	18		
13	富士見町	15		
14	常盤町	12		
15	平和町	11		
16	汐見台	5	不明・その他	9
17	不明・その他	9		
	総計	265		265

# <アンケート調査の対象エリア>



# <主な外出先の施設>

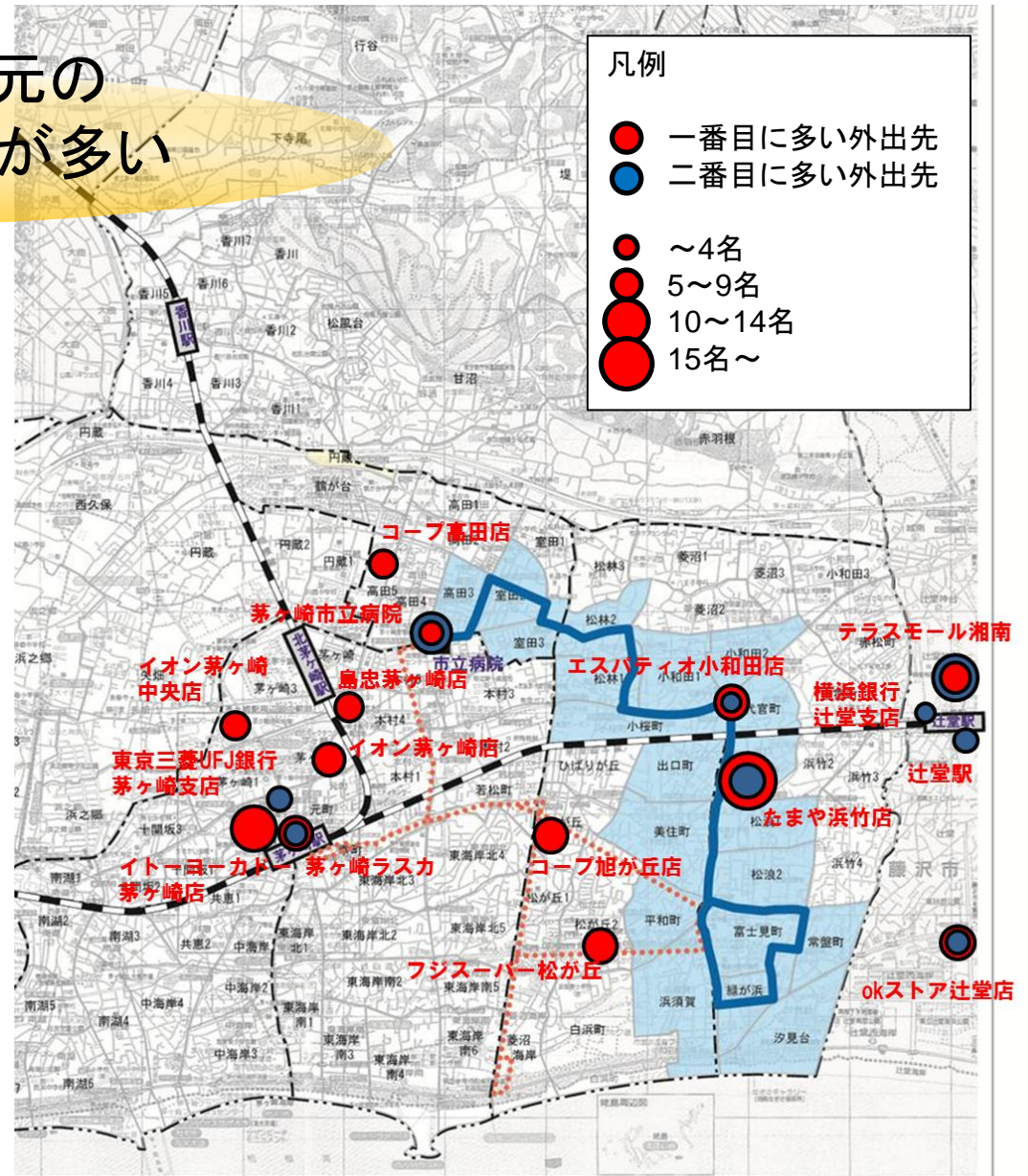
茅ヶ崎駅、辻堂駅、地元の商業施設、スーパーなどが多い

## 【一番目に多い外出】

施設名	件数
たまや浜竹店	18
イオン茅ヶ崎店	14
イトーヨーカドー	10
テラスモール湘南	10
茅ヶ崎ラスカ	6
フジスーパー松が丘店	6
okストア辻堂店	6
コープ旭ヶ丘店	5
コープ高田店	4

## 【二番目に多い外出】

施設名	件数
テラスモール湘南	22
たまや浜竹店	13
茅ヶ崎市立病院	12
茅ヶ崎ラスカ	10
UFJ銀行茅ヶ崎支店	5
辻堂駅	5

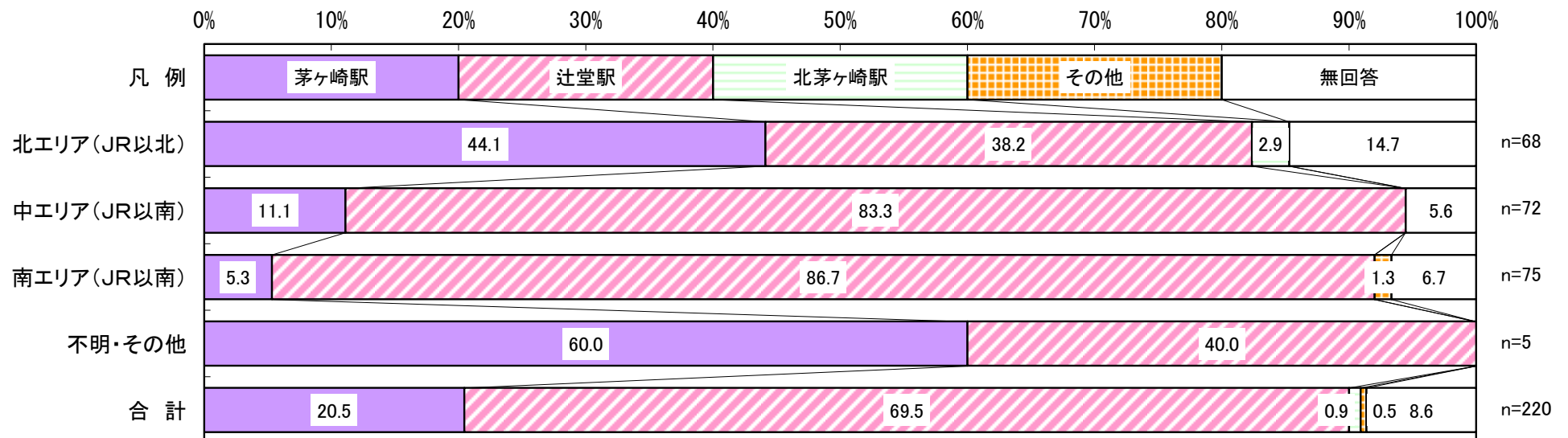


# ＜鉄道の利用状況＞

(利用する場合 利用する鉄道駅名)

- 地区全体      茅ヶ崎駅 20.5%      辻堂駅 69.5%
- 北エリア      茅ヶ崎駅 44.1%      辻堂駅 38.2%
- 中・南エリア      茅ヶ崎駅 1割程度      辻堂駅 8割以上

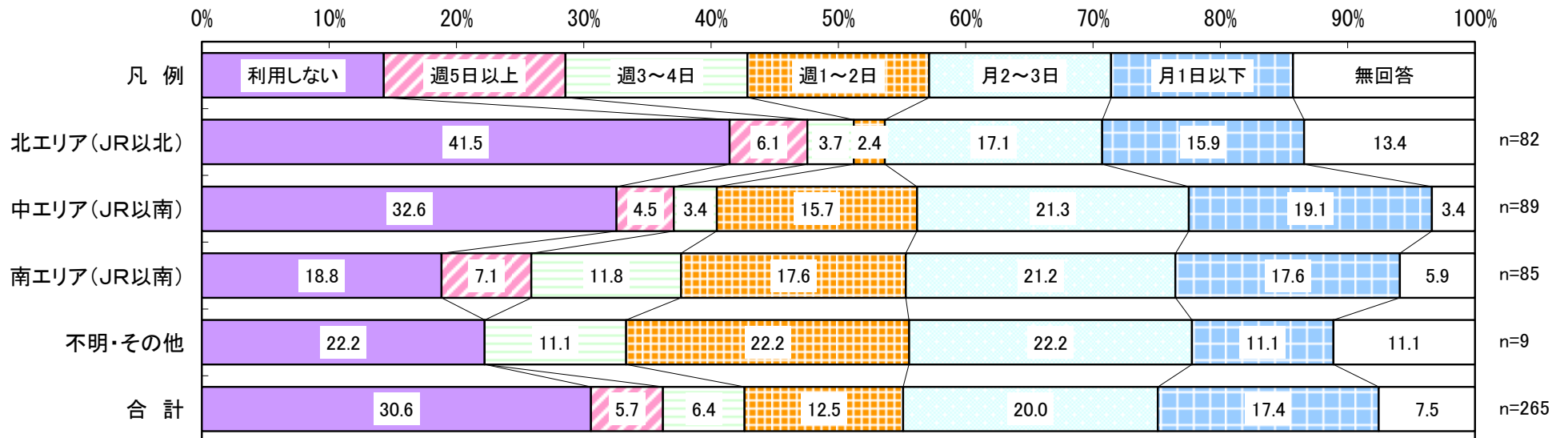
小和田・松浪コース沿線では辻堂駅からの鉄道利用が一般的  
ただし、北エリアの居住者は茅ヶ崎駅を利用



# <路線バスの利用状況について> (利用頻度)

- 地区全体      利用しない 30.6%      週1日以上で利用 24.6%
- 北エリア      利用しない 41.5%      週1日以上で利用 12.2%
- 中・南エリア      利用しない 18.8%      週1日以上で利用 36.5%

小和田・松浪コース沿線ではバスを利用していない方は3割程度  
ただし、南エリアでは路線バスの利用頻度が高い

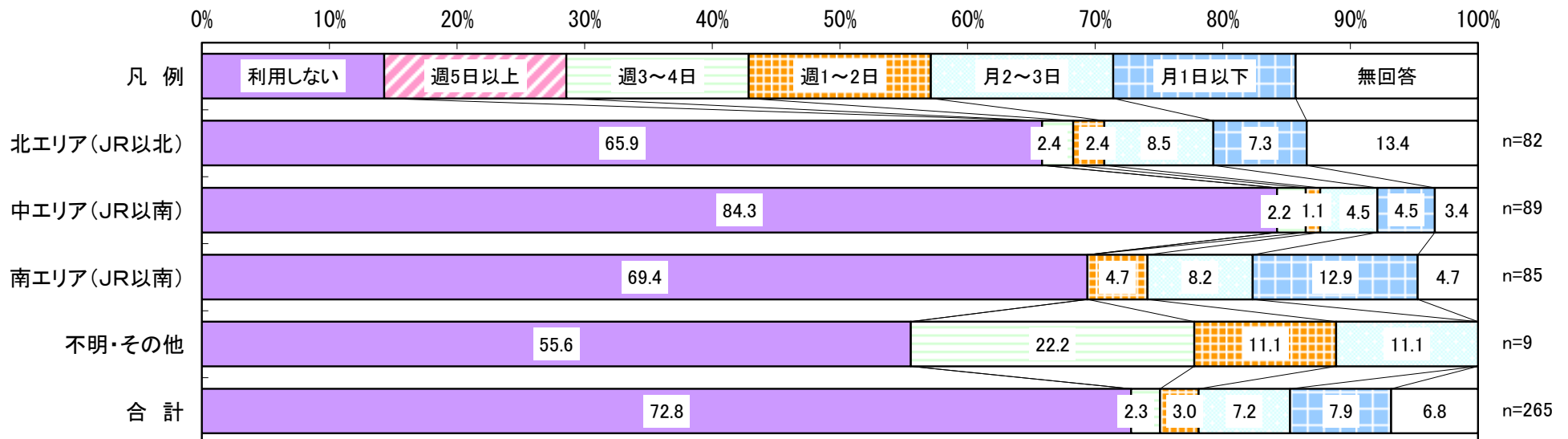


# <コミュニティバスの利用状況について>

(利用頻度)

- 利用状況 利用する 20.4% 利用しない 72.8%
- 利用目的 通院 34.7% 買い物 12.5% 通勤 6.9% の順

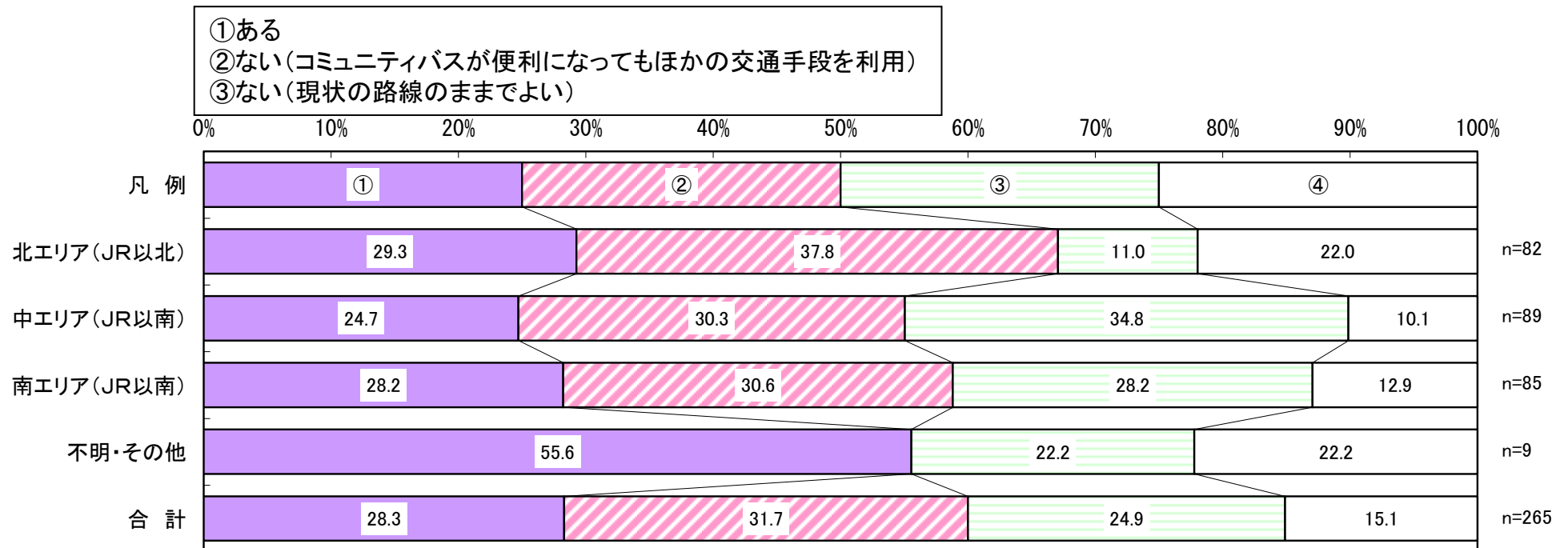
利用する方は全体の2割であり、週5日以上の利用は0人  
通院、買い物での利用が多い



# ＜小和田・松浪コース沿線で利用したい施設や行き先＞ (希望行き先の有無)

- 施設の有無 路線路上にある 28.3% 路線路上にない 56.6%

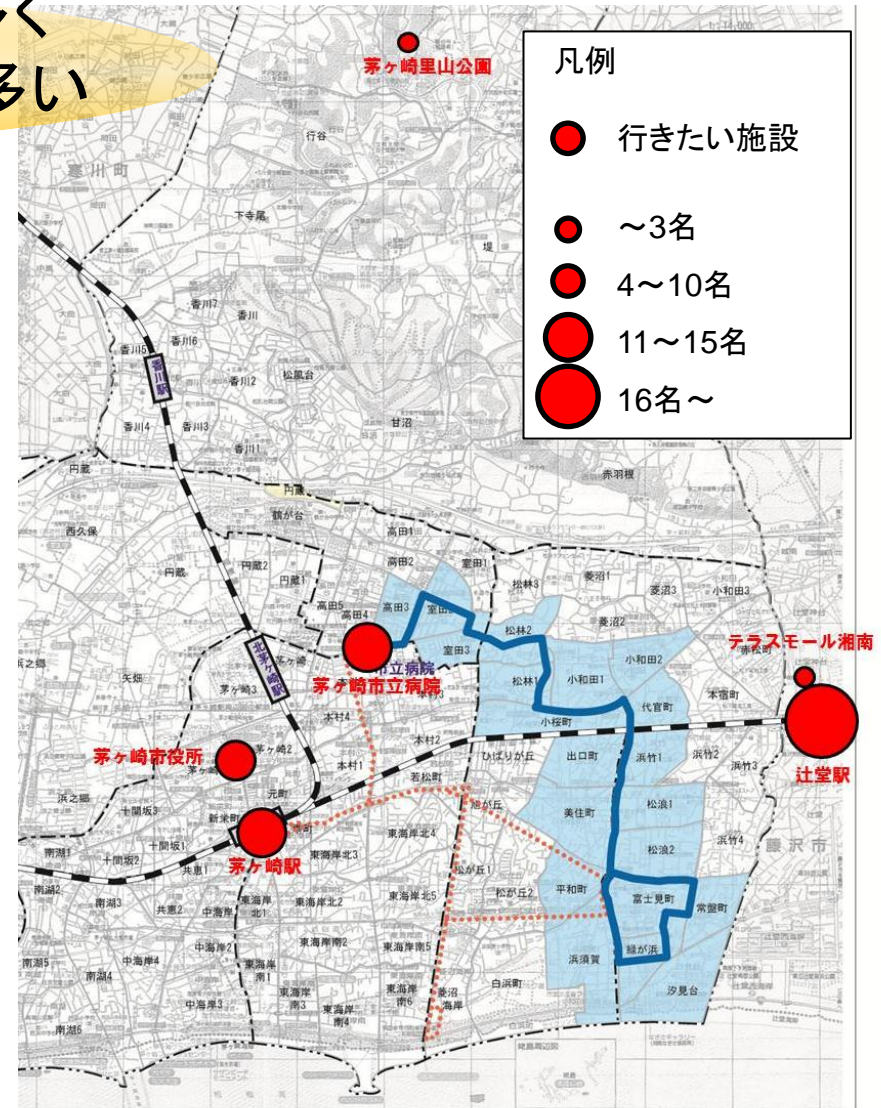
コミュニティバスを利用しない移動が多く  
沿線住民のニーズ満たした路線形態となっていない



# ＜小和田・松浪コース路線で利用したい施設や行き先＞ (行き先名)

辻堂駅への乗り入れ希望が最も多く  
次に茅ヶ崎駅への乗り入れ希望が多い

希望する行先	件数
辻堂駅	20
茅ヶ崎駅	12
茅ヶ崎市立病院	11
茅ヶ崎市役所	6
テラスモール湘南	3
茅ヶ崎里山公園	2
香川駅	1
茅ヶ崎市立図書館	1
小和田公民館	1
湘南中央病院	1
保健センター	1

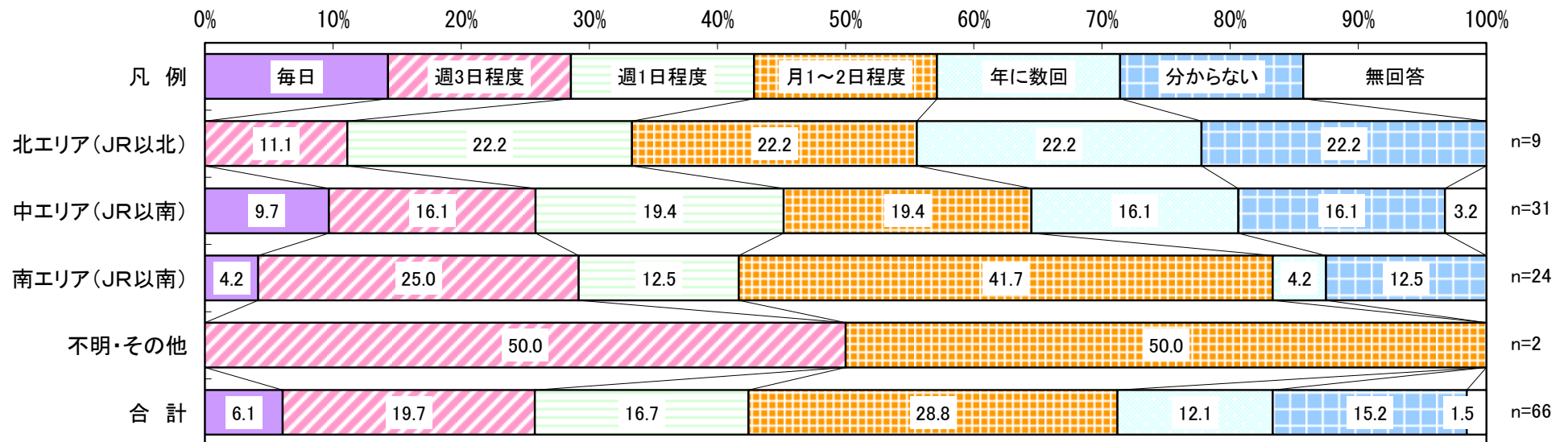




# ＜希望する行き先に行ける場合、どのくらい利用するか＞

- 地区全体 週3日以上 25.8% 月1日以上 45.5%
- 北エリア 週3日以上 11.1% 月1日以上 44.4%
- 中・南エリア 週3日以上 3割程度 月1日以上 4割程度

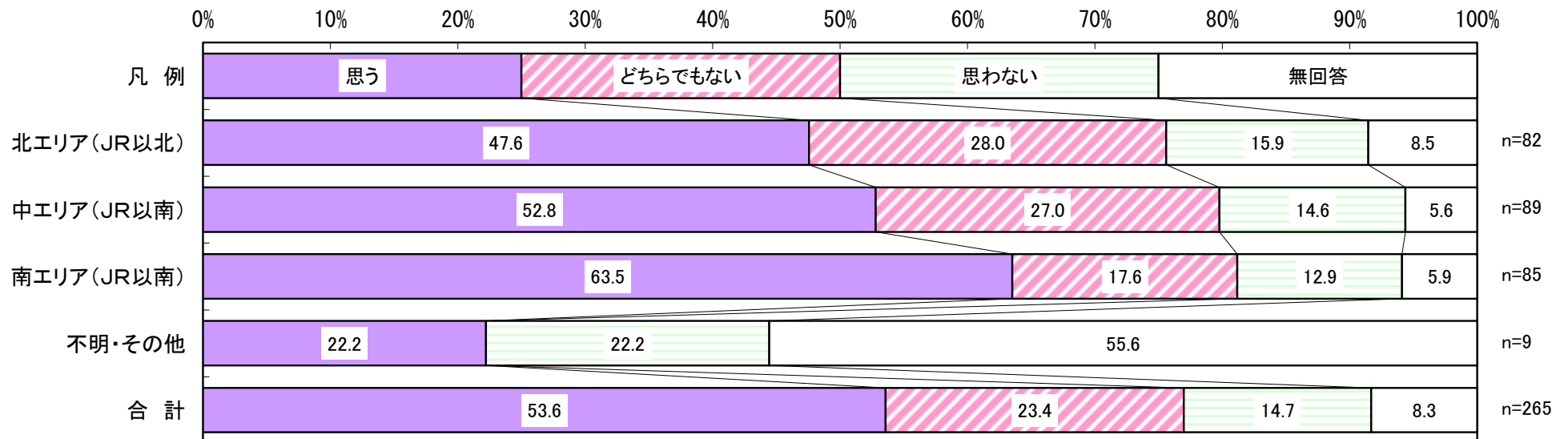
地域のニーズにあう路線再編により、利用増の可能性  
特に中・南エリアでの利用の増加が考えられる



# ＜今後、コミュニティバスが利用しやすくなったら、積極的に利用したいと思うか＞

- 積極的に利用しようと思う 53.6%
- 積極的に利用しようと思わない 14.7%

コミュニティバスの利便性向上により利用者増が見込まれる  
中・南エリアにおいて傾向が強い



## <小和田・松浪コースについての意見>

### ■ 運行範囲、ルートに関する意見

- ・ 駅に出にくいルートになっている
- ・ 路線バスではできないルートを走ってほしい
- ・ 市立病院に行く以外の目的には使えない

### ■ 時間帯・本数に関する意見

- ・ 本数が多ければもう少し利用すると思う
- ・ 午後5時台がないので、不便

### ■ 情報提供、PRに関する意見

- ・ バス停位置、路線図、時刻表などの周知を図ってほしい
- ・ 所要時間を掲示してほしい

### ■ 当路線を必要とする意見

- ・ 今まで線路を超えるバスはなかったので、ありがたい
- ・ 老人や子供たちにとって大切な足なので、減便や廃止はやめてほしい

### ■ 当路線は不便、不要だという意見

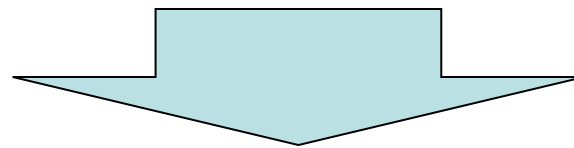
- ・ 行きはよいが帰りがない。ないよりはましといった程度
- ・ 自転車、徒歩のほうがまだいいくらい

## ⑤ 住民ワークショップの実施

### ＜ワークショップの目的＞

- （今後実施予定）

コミュニティバスを利用する際の行先ニーズの詳細を把握し（アンケートの補足）、さらに路線見直し案を地域住民主体となって立案する。



地域公共交通会議

## 2. 北部循環市立病院線 (北部地域)の調査

# ① 現状と課題

- 平成18年3月運行開始
- 累計22万6千人あまりの利用
- 1便平均5人強
- 市街化調整区域を通過しており、利用者数があまり伸びない



## <現在の課題>

人口密度の低い地域において持続的な運行を目指すために  
**行き先、運行ルート、運行システム**を含めて検討を行う必要がある

## ② 検討の流れ

### 【STEP1】現況およびニーズ調査

実施済

#### 地域特性分析（今回の報告内容）

- ・コミュニティバスのニーズ
- ・再編への要望
- ・既存路線バスへの影響

#### アンケート調査（今後実施予定）

- ・地域での移動実態の把握
- ・バス利用の際の行先ニーズの把握
- ・今後の利用意向

現状と市民ニーズ  
両面を把握



### 【STEP2】再編案の検討

#### 住民ワークショップの実施（今後実施予定）

- ①第一回：アンケート結果に基づいた路線ニーズと路線見直しの考え方の整理
- ②第二回：第一回の結果を整理し、路線再編案を検討  
路線見直し（住民案）の立案

今後の地域公共交通会議

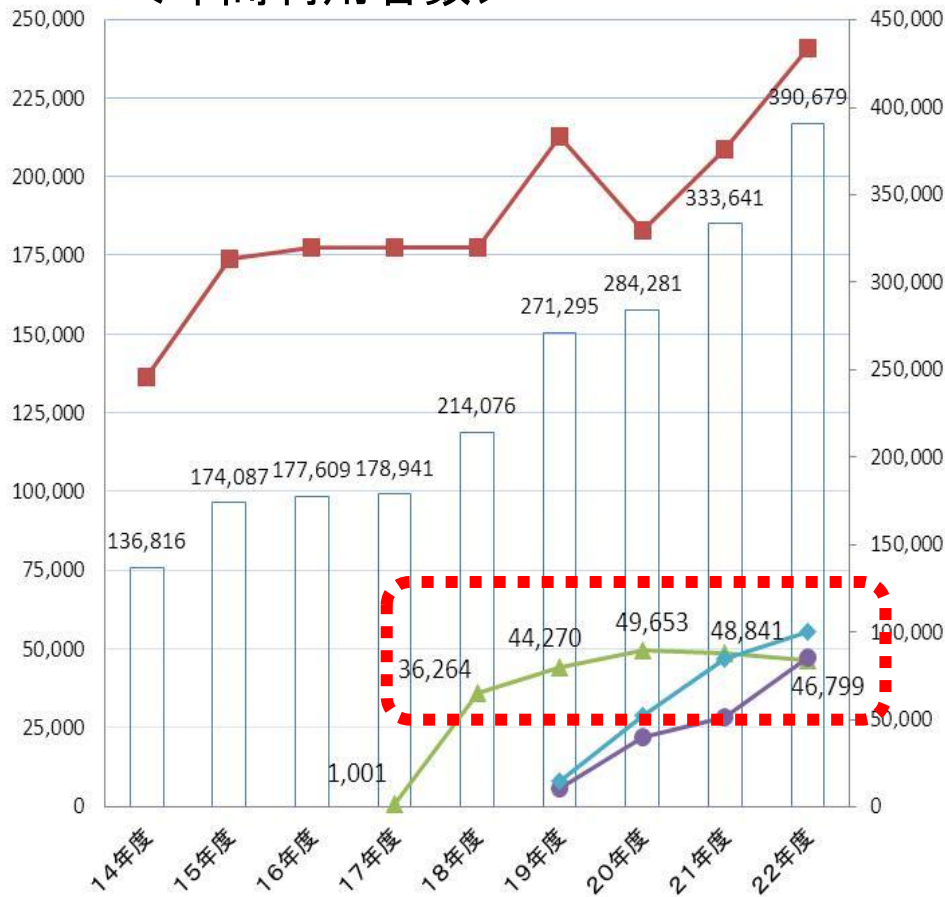
### 【STEP3】まとめ

まとめと取り組みの整理

# ③ 地域特性分析

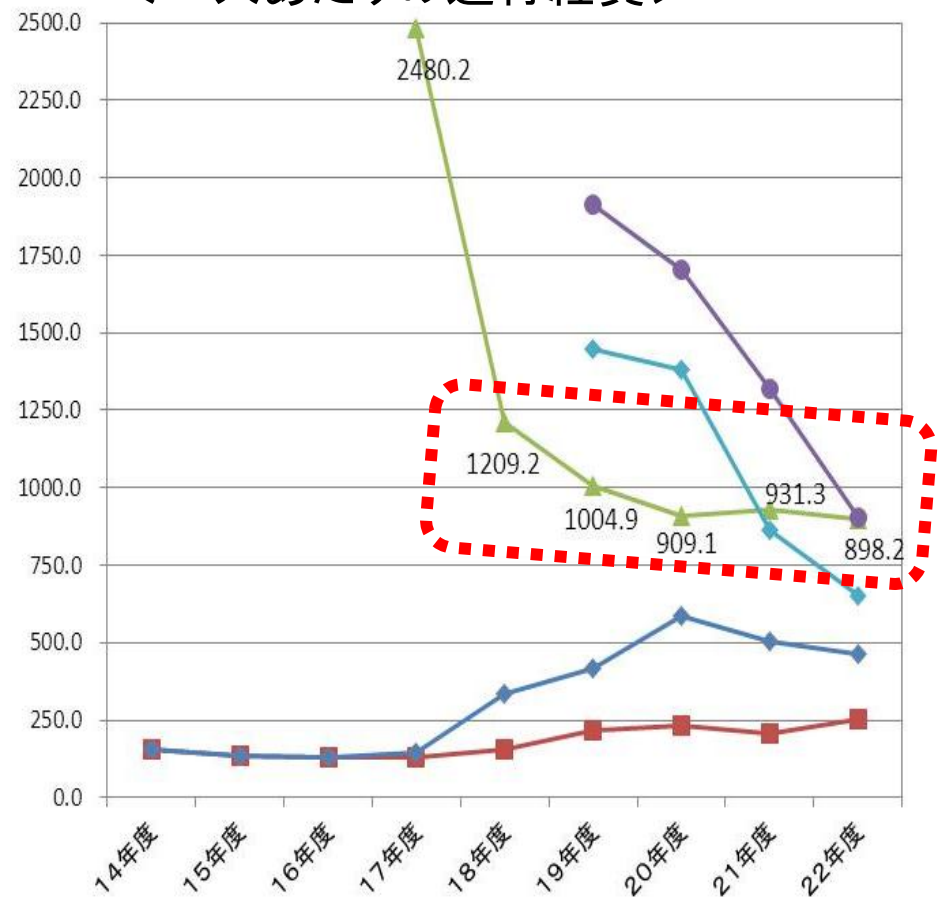
## ○コミュニティバスの利用実績（平成14年度～22年度）

＜年間利用者数＞



年間利用者は若干の減少傾向にある

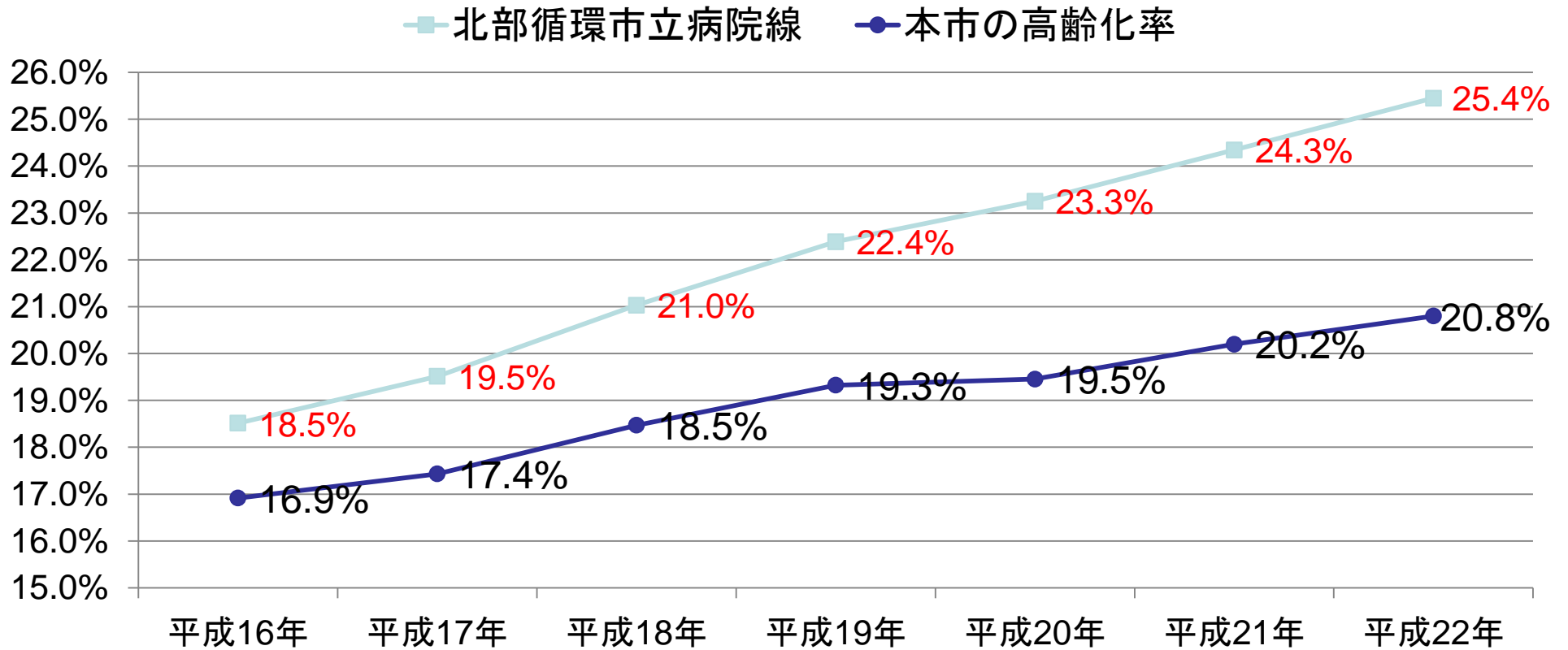
＜一人あたりの運行経費＞



一人あたりの運行経費は横ばい



# ○北部循環市立病院線沿線の高齢化率

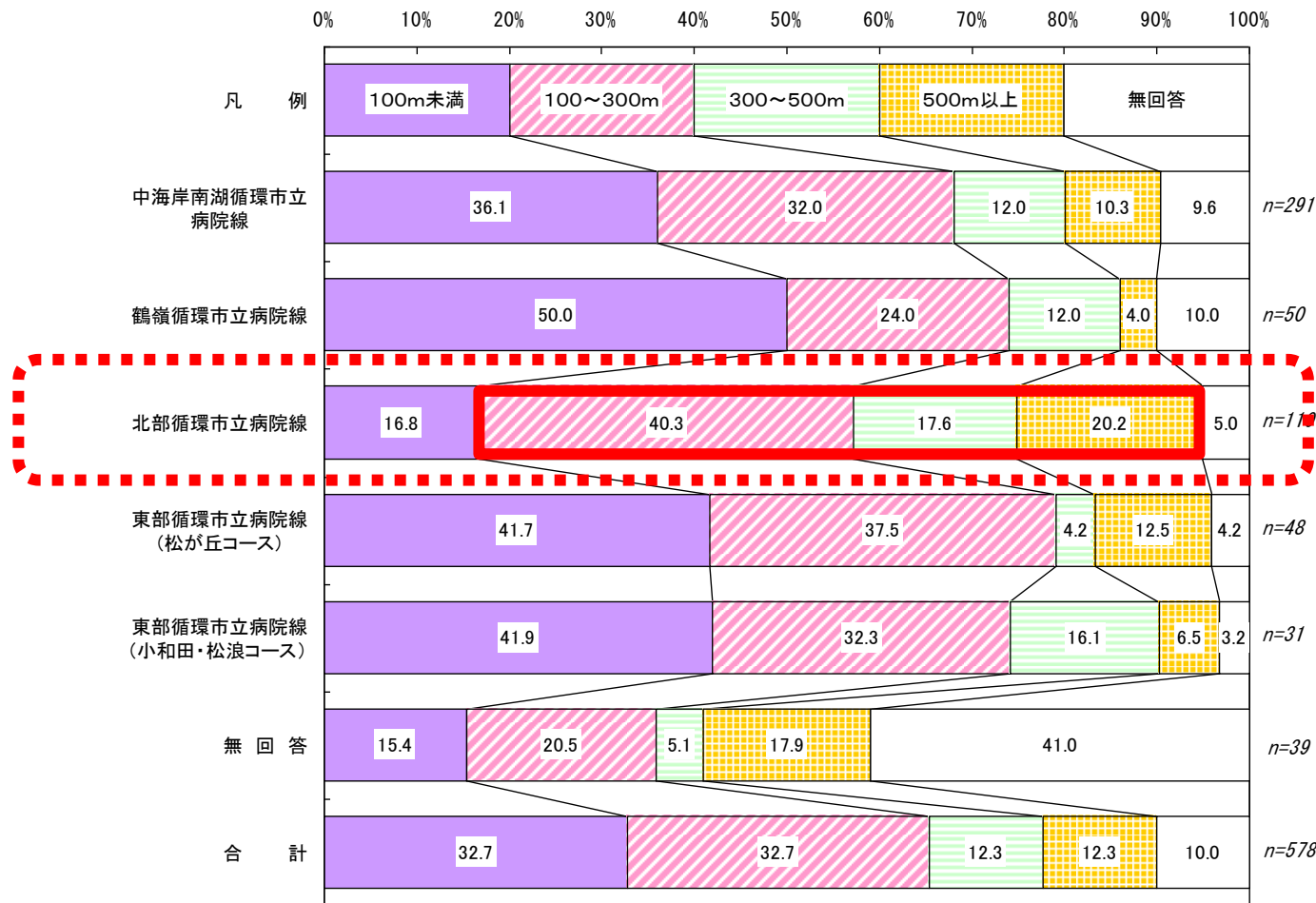


資料:住民基本台帳(各年:1月1日時点)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
高齢者数	5,457	5,544	5,849	6,276	6,765	7,117	7,484	7,802
地区内人口	34,592	29,946	29,976	29,841	30,221	30,607	30,740	30,774

# ○バス停までの距離の比較

(平成20年度アンケート調査結果より)



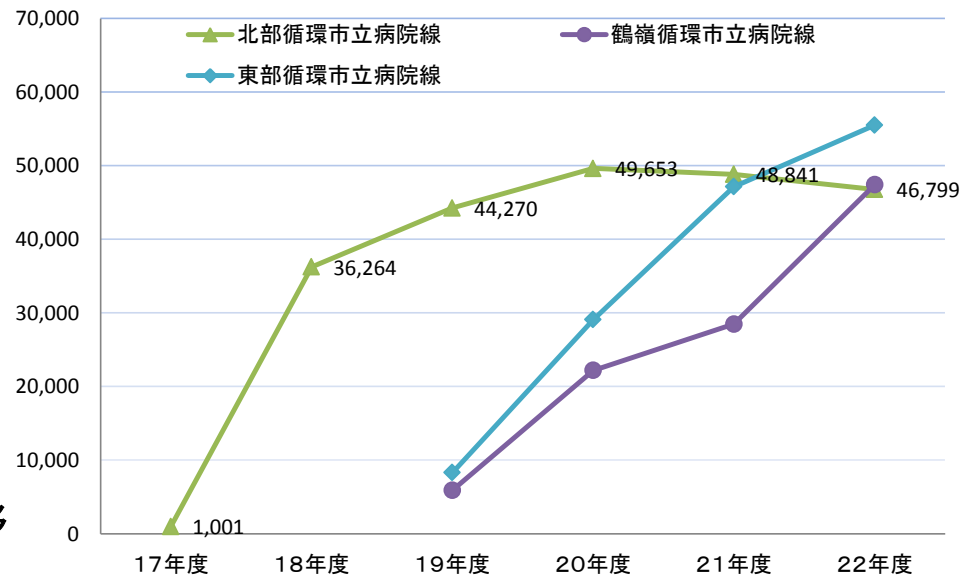
運行エリアが広域であり、バス停までの距離が100m以内の利用者が他の路線と比較して著しく少ない

# ○北部循環線の利用者数、費用負担

北部循環市立病院線は、年間、日別、便別の利用実績(平成22年度)が全路線の中で最も少ない。一人あたりの運行経費も鶴嶺循環に次いで高く、一人当たり900円弱の経費がかかっている。

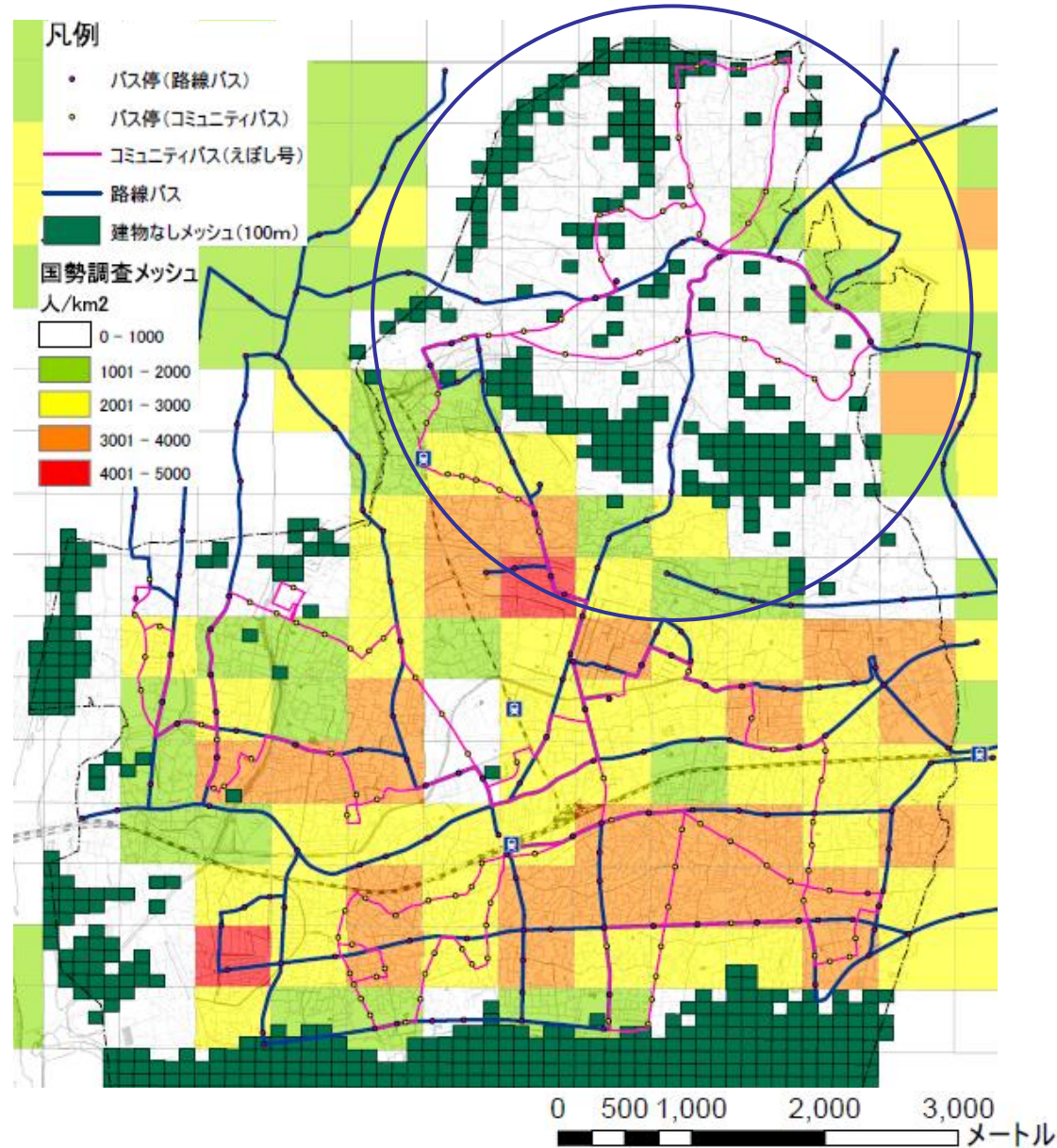
平成22年度利用者数の比較

	年間利用者数 (人/年)	日あたり利用者 (人/日)	1便あたり利用者 数(人/便)	一人当たりの 運行経費
中海岸南湖線	240,933	660.09	25.47	250.75
北部循環市立病院線	46,799	128.22	6.41	898.21
鶴嶺循環市立病院線	47,430	129.95	6.50	905.46
東部循環市立病院線	55,517	152.10	8.45	651.02
全体	390,679	1,070.35	-	464.67



# ○北部地域の低い人口密度

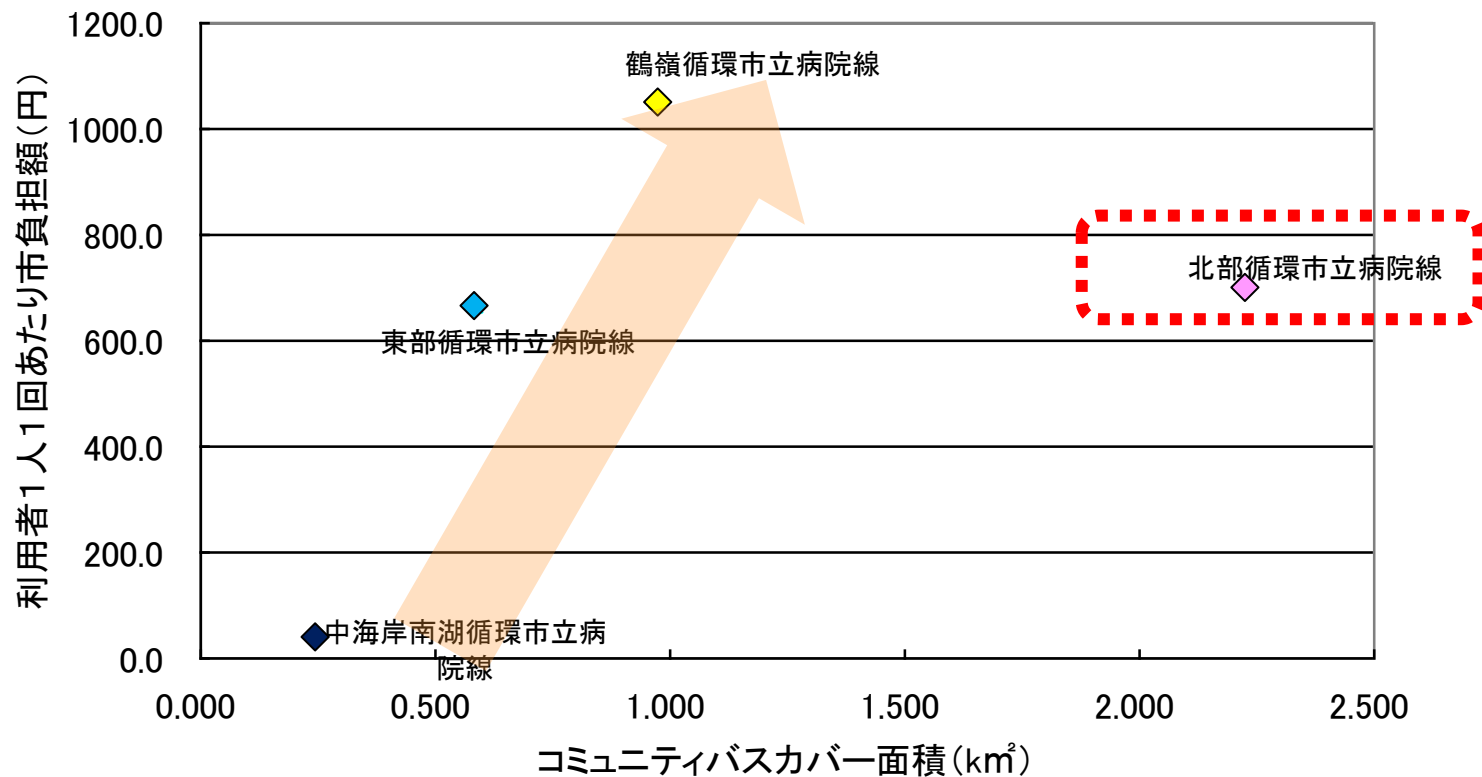
北部循環市立病院線は、年間、日別、便別の利用実績(平成22年度)が全路線の中で最も少ない。  
一人あたりの運行経費も鶴嶺循環に次いで高く、一人当たり900円弱の経費がかかっている。



# ○コミュニティバスのカバーエリアの面積と市負担額

- カバーエリアの面積が増加すると、負担額が増加する傾向

北部循環市立病院線は他の系統と比較し  
**カバー面積に対する負担額が小さい**



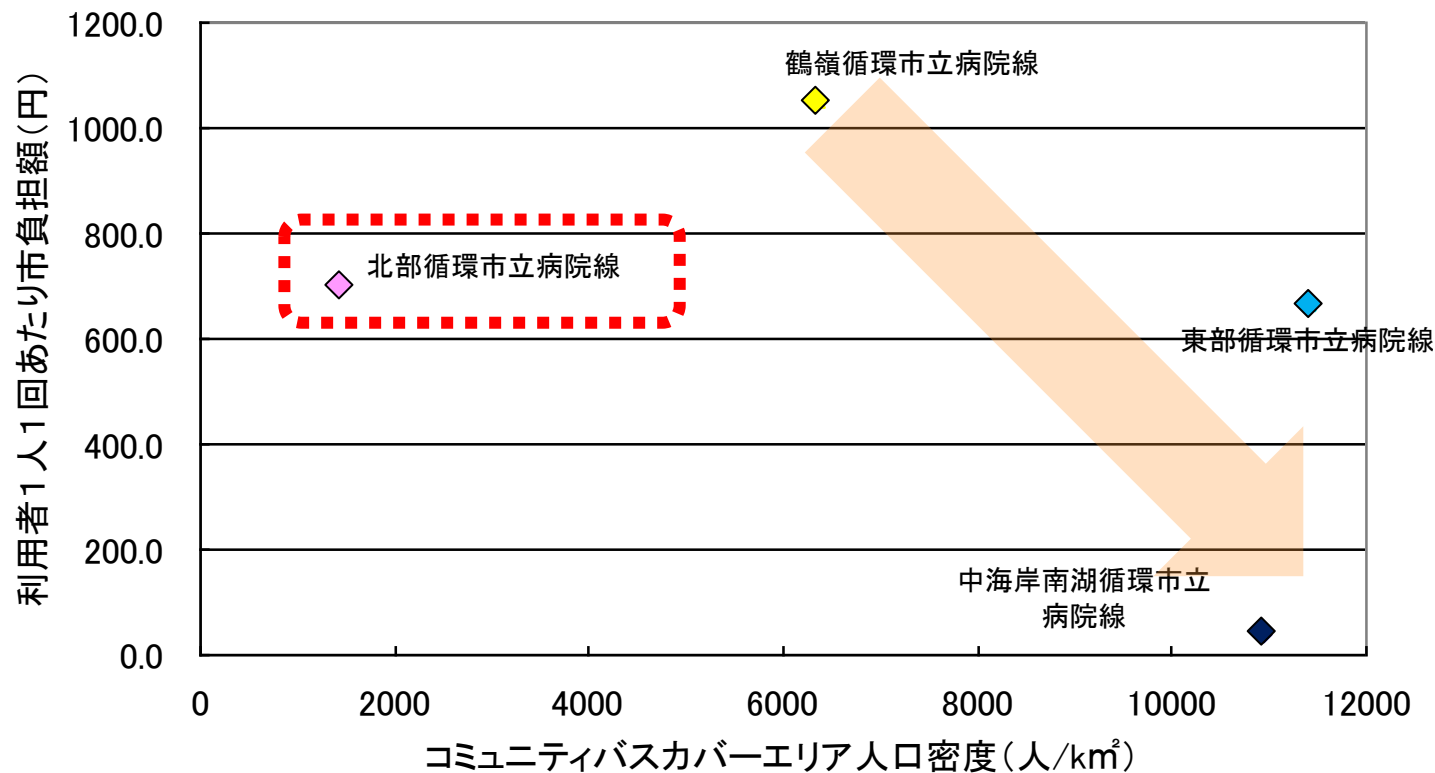
※コミュニティバスのカバーエリア：コミュニティバスのバス停勢圏半径300mを含むエリア

# ○コミュニティバスのカバーエリアの人口密度と市負担額

- カバーエリアの人口密度が増加すると、負担額が減少する傾向

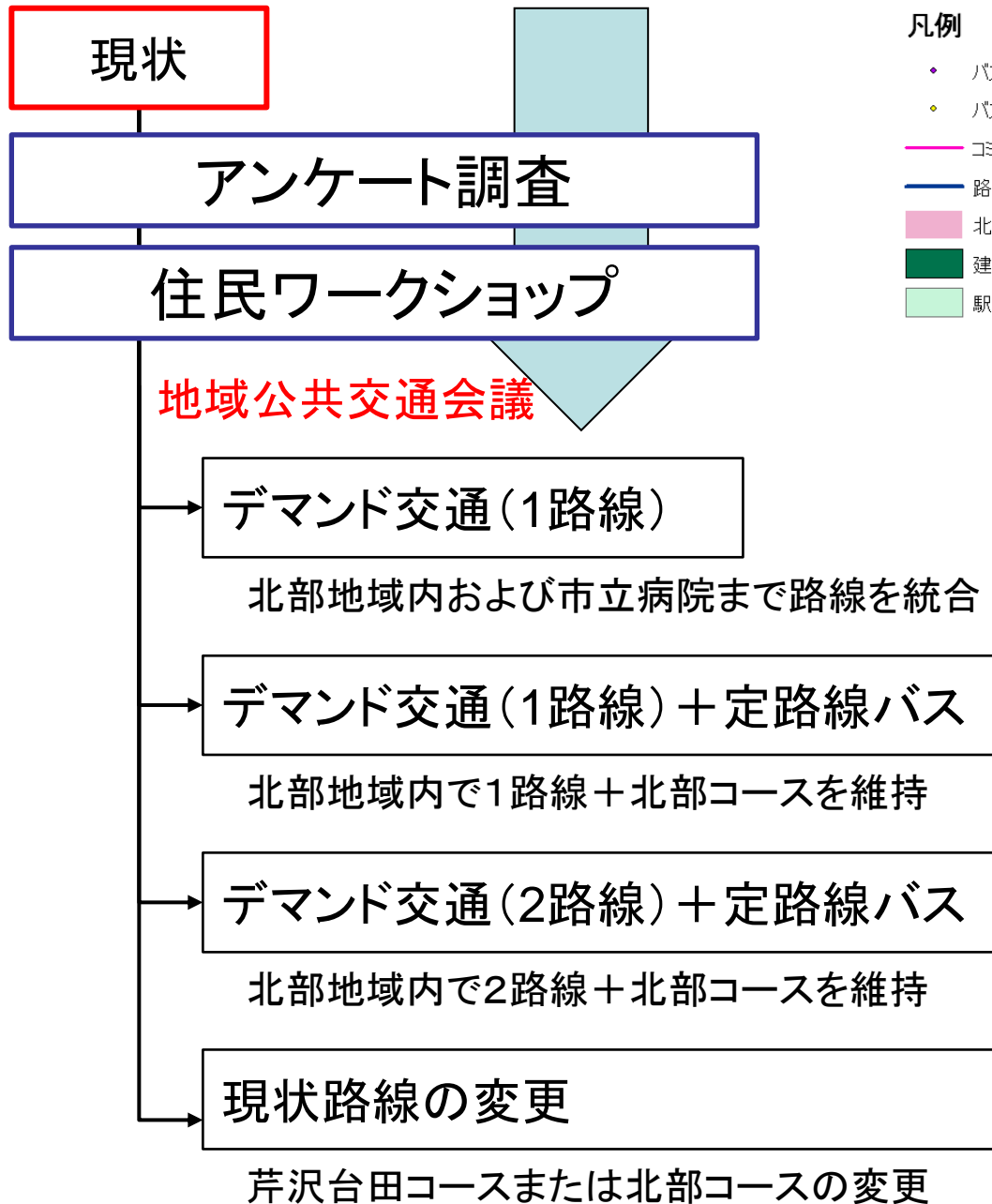
北部循環市立病院線は他の系統と比較し

人口密度に対する負担額が小さい



※コミュニティバスのカバーエリア：コミュニティバスのバス停勢圏半径300mを含むエリア

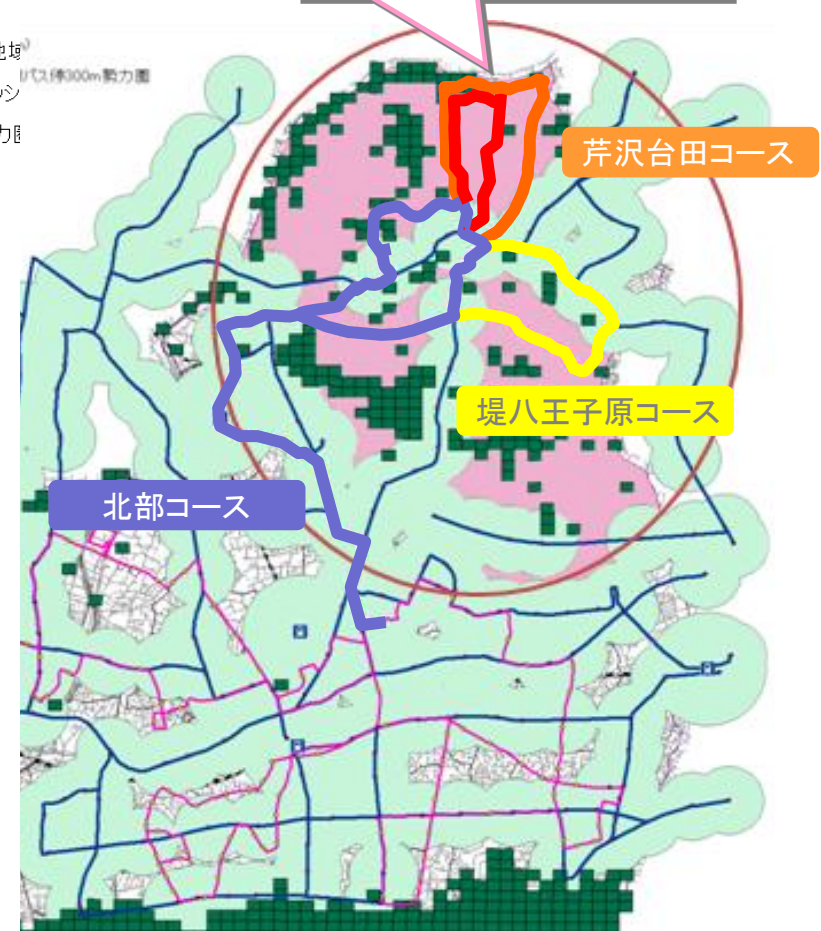
# ④ 今後の検討の流れ(案)



凡例

- ◆ バス停(路線バス)
- ◆ バス停(コミュニティバス)
- コミュニティバス(えびし号)
- 路線バス
- 北部空白地域
- 建物なしメッシュ
- 駅500m勢力圏

対象エリア  
 ・面積：4.8933km<sup>2</sup>  
 ・人口：7,163人



# (参考) 現状路線の変更要望について



- 芹沢台田コースのほぼ中央部にある道路にコミュニティバスを通す案

- スポーツ施設や助産院などがあり、北部地域では比較的民家が多い